

令和3年度 下庄小学校スクールプラン



大野市教育理念 明倫の心を重んじ育てよう大野人

【学校教育目標】
協同的で探究的な学びによって自らを高めていく子を育てよう

校訓
愛・誠・健

めざす児童像

- ☆ 課題を見つけ、課題に挑戦し、ねばり強く丁寧に取り組む児童
- ☆ 自分の思いや「わからなさ」を積極的に伝え、他の意見を聴き、共に学びを深めようとする児童
- ☆ 学び合いの中で、自らを高め、その高まりを実感できる児童

【研究主題】 『つなぐ』 学び
フリートークが子どもを変える ～つながる 広がる 深まる～

【重点目標】

＜授業＞	＜学級＞	＜教育活動全体＞	＜家庭・地域との連携＞
○「気づき」「広がり」「深まり」が生まれる単元構成と魅力ある課題が設定されている。 ○一人一人の思いや考えに寄り添い、誰もが安心して学ぶことができる。 ◎協同的な学びにより、一人一人の学びが保障されている。	○規律ある中で、個々の思いが尊重され、自治の力がある。 ○一人一人の個性を認め合い、共に高め合う。 ○協同的に学び、個が育つ。	○基本的な生活習慣が身に付く。 ○様々な活動に一人一人が思いをもって参加する。 ○異学年での関わりの中で、積極的に伝えたり伝え合いの仕方を学んだりする。 ○一人一人に自信が生まれる。	○学校が、家庭・地域に信頼される。 ○家庭・地域と共に、子どもを守り育てる。

【具体的な取組】			
○単元は、一人学びと全体での共有を往復する構成とし、課題は児童の気づきや思いを活かして設定する。 ○児童の声をつなぎ、タイミングをのがさず学びが深まるような切り返しや言葉がけをする（教師はファシリテーター）。 ○フリートークを授業の基本形態とし、一日1授業はフリートークに特化した授業を行う。 ○フリートークとタブレットとの融合に挑戦する。 ※各教科の関連する単元の中で、SDGsを積極的に取り上げる。	○よりよい生活や学級について話し合い、自分に関わることとして捉えさせる。 ○「つなぎタイム」でフリートークの素地を養う。 ○低学年は、係、当番、生活班などの小集団活動の中で、自己実現の場を設定する。高学年は、さらに、学級外の様々な活動における学びを活かして学級内で実践を深める。 ○「しょうちゃんは元気？」をもとに、児童の抱える問題の解決にあたりとともに、人権意識を高める。	○「みんなでそろえる！心がそろろう！下庄っ子」をもとに「ニコリ、ペコリ」「おくだん」「全力○○」など基本的な行動を身に付ける。 ○毎月の集会活動において、異学年での意見の伝え合いの場を設ける。 ○連続性のある「なかよしタイム」を設定することで、さらに活動内容を広げたり深めたりする「もっと！なかよしタイム」につなげる。 ○活動の見通しがもてる児童会掲示板(なかよしタイム・委員会活動)を設置する。	○学校公開や「たより」等を通して、学校と家庭・地域との共通理解を図る。また、SDGsの普及にも貢献する。 ○週末読書やファミリー読書などを通して家庭での読書を推進する。 ○定期的に行う各種チェック表を通して、家庭学習や生活習慣(情報モラル含)の定着を図る。

＜目標＞	＜目標＞	＜目標＞	＜目標＞
◎授業に主体的に取り組んでいる児童 70% ○授業がよくわかる児童 70%	○学校が楽しい児童 85% ○みんなで何かをするのは楽しい児童 90%	○将来の夢や目標を持っている児童(6年生) 80% ○集団活動の中で、伝え合いができた児童 80%	○学校と共通理解のもと子どもを育てている家庭 90% ○家庭で週末などに読書をしている児童 80%

＜業務改善のための取組＞

- ・出退勤時刻自己管理表を入力することで、在校時間を意識した働き方を推進する。
- ・業務改善担当を中心に、教育課程の振り返りと再編を行う。
- ・教科担任制を多く取り入れることで、各自の専門性を活かしながら、授業準備(教材研究等)の効率化を図る。
- ・各担当別に引き継ぎ書を作成し、随時、業務の見直しを更新する。